

若年労働力の就業状況は例えば三九年度中学校卒業のみにして二千人以上の人が県内で直ちに就農する状況であり、この現実を決してないがしろにはできない。これらの人々の資質を向上させることが如何に大切で且つ急務であるかを痛

すすむ住宅地造成 (三月)

本県の住宅難緩和の一環として、街路、上下水道、公園、緑地など、環境の整備した宅地を供給する目的で、大団地を計画して始めたのが、江津湖団地宅地造成工事である。

この工事は、また江津湖を浚えて、市民の憩いの場所としての江津湖公園化に寄与するという、一石二鳥の効果をねらっている。

昭和四〇年三月、工事に着手し、順調に工事も進み、周辺の土留工事および江津湖の浚渫による盛土工事を終り、いよいよ下水道、上水道、道路、都市ガス工事など、環境整備の工事にとりかかり、併せて、住宅の建設に着手した。

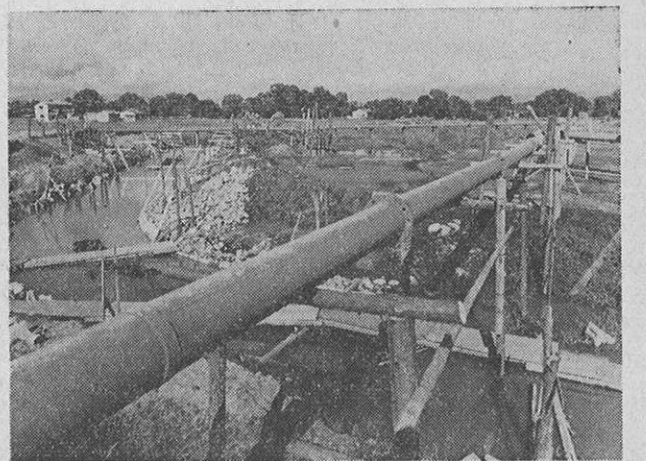
江津湖団地の規模および建設計画は、
一、総面積、約四万八千坪
二、宅地利用面積、約三万五千坪
三、児童公園、三カ所、約一千五百坪
四、建設計画の内容

(1) 積立分譲住宅

- 一般勤労者に積立方式によって土地付建物を分譲するもの
 - 四一年 木造六〇戸
 - 四二年 木造八〇戸
 - 計 一四〇戸
- (2) 公営住宅 (県営)
 - 鉄筋コンクリート四階建アパート四一年～四五年二〇棟四八〇戸
- (3) 宅地分譲住宅
 - 昨年の宅地債券募集に当選し、現在払込中の方に宅地を分譲するもの
 - 四一年 一三〇戸
- (4) 一般分譲住宅
 - 一般の希望者に建築住宅として、土地付建物を分譲するもの
 - 四一年 木造二〇戸
- (5) 一般宅地分譲住宅
 - 一般の希望者に宅地を分譲するもの
 - 四一年 三九戸

感させられる。今や新装なった経営伝習農場においてその特徴を充分生かし、もうかる農業への意欲と実現を希望する青少年に対し、これを達成させる教育を行なわねばならぬ最善の時期と思う。

(6) 便利施設用分譲地
四一年 一七区画
以上のような計画であり、住宅の総戸数八二六戸、約三、三〇〇人収容の団地になる予定である。
本県では、昭和四五年までに「一世帯一住宅」の実現を図るため
(イ)人口の都市集中化 (ロ)世帯の分離 (ハ)既存建物の老朽化 (ニ)過密居住の解消
などによって生ずる約八万二、七〇〇戸の不足する住宅の建設計画をたてて、住宅に困っている人達に一日も早く自分の住宅が持てるよう努力が続けられている。
その一環として、新しく設立された「熊本県住宅供給公社」があるが、この運用によって、江津湖団地



資金別住宅建設の目標

区分	建設計画戸数	構成比
総数	827	100.0
政府施策住宅	289	34.9
公営住宅	105	12.7
第1種住宅	46	
第2種住宅	59	
改良住宅	3	0.2
公庫住宅	140	16.8
個人住宅	110	
賃貸住宅	120	
その他住宅	10	
公団住宅 (特定分譲住宅)	10	1.2
厚生年金融資住宅	14	1.7
雇傭促進住宅	8	1.0
その他	9	1.1
民間自力建設住宅	538	65.1

のような大団地を積極的に計画開発して、環境のよい宅地および住宅を多量に

供給して豊かな県民生活が実現するであろう。

津奈木、阿村

干拓潮止め終る (三月)

熊本県の干拓事業は、有明海沿岸、不知火海沿岸地帯に、古くから進められ、県内の主要河川の河口に拡がっている既耕地の大部分は、我々の先祖によって築きあげられた干拓地であるといわれている。昭和年代になってからも、各地で干拓の事業が着々と進められているのであるが、来年三月潮止め工事を完成し、本年度内にその工事を終了する津奈木、阿村阿地区について、その概要をみてみたい。

津奈木干拓は、熊本県芦北郡津奈木町の地先、津奈木川と小津奈木川により堆積した河口湾の四五畝を、一九六〇米の提防で締切ろうという干拓事業で、地元津奈木町の協力を得て、県営工事として行なっている。

この事業は、昭和二二年に、熊本県代官芦北地区干拓建設事業 (代行とは、国の行う事業を県が代って行う事業をいう) の津奈木工区として、終戦後の緊急開拓事業の一環である浮動労働力の定着と、食糧増産を目的として計画されたのであるが、昭和二六年干拓事業処理方針



に基づき、補助干拓事業に切替えられ、三四年より工事に着手して以来、順調な経過をたどっている。
三九年度に潮止工事を行ない、本年度中に提防工事と排水路工事の大部分を終り、来年度に干拓地内の道路、水路工事を行なって、待望の津奈木干拓事業の完了をみる予定である。

これが完成の暁には、事業の目的である食糧の生産は勿論、農家経営規模の拡大、ひいては農家の所得向上をめざして、既に津奈木町で実施している農業構造改善事業との関連においても、大きな役割を果たすものと期待される。

阿村干拓は、風先明びな国立公園内の天草郡松島町の阿村港の干潟地三四畝を約一、七七〇米の提防で締切り、約二九畝の農地を造成しようとするものであるが、農業所得の増加と経営の安定を要望する町民の熱意と相まって、離島振興事業の一環として、昭和三三年度より着手したものである。天草の島は、耕地面積が少なく、従ってほとんど開田、開畑の余地がなく、現在急傾斜地帯の山林を開発して、樹園地造成を進めている。

然しながら、阿村は、零細経営の農家が多く、耕作面積は、約二六アールと、郡平均四五アールよりはるかに少ない現状であり、加えて山岳は峻険で、樹園地造成地帯がなく、農業と他産業との格差は大きく、地元民の耕地に対する渴望は、必然的に干拓地に対する熱意となつて現われた。

たまたま昭和二八年に天草島が離島振興法の適用を受け、天草島総合開発計画の一環として、本地区の干拓計画が取り上げられ、三三年度に工事に着手したのであるが、津奈木とともに本年三月に潮止工事を行ない、道路や水路を整備して四一年度に事業の完成終了をみる予定で

ある。

これにより本地区は、飛躍的な事業効果を生み、他産業との格差を縮め、地域開発の目的を達するものと思われる。

津奈木、阿村阿地区共、その社会的な背景は違ふのであるが、干拓完成後は、ともにその地域の農業経営の発展と、生産構成の確立のために、貢献するものと期待される。

(14ページ・資料)

新県庁舎の設計のあらまし
事務棟 鉄骨鉄筋コンクリート造
地下二階、地上十二階
延面積 四〇四〇四・一平方
尺 (一、二二二・九坪)
軒高 四三・三尺
議会議棟 鉄筋コンクリート造
地上三階
延面積 四八八四・七平方
尺 (一、四七七・六坪)
高軒一四・三尺
設備 エレベーター八基 (事務棟のみ)
工期 全館空調設備
昭和四〇年八月着工
昭和四二年二月完成予定

訂正とお詫び

広報くまもと公聴版の前号は、一月・一八四号となつておりましたが、一〇月・一八四号の誤りでした